

令和元年 12 月 31 日（通巻第 176 号）

ボウルズ・ジャパン ブリテン

発行元：NPO 法人ローンボウルズ日本 総務部

役員からの年頭のご挨拶

会長 山田 誠

皆様、あけましておめでとうございます。

2019 年の最大の話題は何と言ってもラグビーW 杯だったと思います。にわかファンも巻き込んで日本中が熱く燃え上がりました。流行語大賞にも「One Team」が選ばれました。ラグビーでは、フォワード 8 人が一体となるスクラムの場面でチームワークの良し悪しが顕著に現れます。もちろんフォワードとバックスの連携も重要です。そしてチームが一つとなることで良い結果に結びつくというものです。このような、チームワークがスポーツでは大切だということは誰でも知っていることですが、今回の「One Team」の言葉の中には、代表監督や選手からの発信によると、一般的に考えられているチームワークの概念を超えて、精神的な結束という要素がより強く込められていたように思います。

ローンボウルズ のチーム戦でも、当然のことながらチームワークが重要です。時としてゲームの結果が傑出した個人の力量に左右されることがあります。それはゲームの構造上やむを得ないのですが、一人に頼らず、できれば各ポジションのプレイヤーがゲームプランに基づいてそれぞれの役割を果たし、互いがカバーしあうようなゲームができれば、おそらく納得のいく結果を得られるに違いありません。仮に相手がそれ以上に上回ったとしても、勝敗にかかわらず、各人が充実感を得るものになるのではないのでしょうか。戦略の意思統一はもちろんですが、特に精神的、心理的な要素、互いのポジティブな声かけなどが大切だと思われまます。良い声かけがなされると気持ちが落ち着き、不思議と良いボウルができるようになるようです。このようなことは皆様にとって釈迦に説法かもしれませんが、改めて見直す機会になれば幸いです。

2020 年では、ゲームの時のチーム、クラブ、そして BJ と組織全体が互いにチームワークを発揮し、明るい雰囲気を作りながら前に進んで行くことができれば、先の開けた年になるのではないのでしょうか。ボウルズ界も「One Team」で！！

理事長 奥田 昭

新年あけましておめでとうございます。

今年 4 月に森前理事長（現事務局長）の後を引き継ぎ、理事長職を拝命し、何とかこれまでやってこれましたのは、会員皆様のご協力、ご支援のおかげと感謝申し上げます。

昨年の出来事を振り返りますと、まずは 10 月 12 日～14 日の明石グリーンでの第 6 回ジャパンオープン大会が、台風の影響により開会式を室内へ変更し、大会スケジュールも一部短縮といった臨機応変の対応により無事成功裏に終了し、参加各国からも好評価を頂き喜んでいただけたことが挙げられます。これも、会員皆様の献身的なボランティア精神に基づくご協力による成果によるものであります。

さて、今年のBJの最大課題としては「ワールドマスターズゲーム 2021 関西ローンボウルズ大会」へ向かっての準備作業の開始及びこれまでに引き続き、「加盟会員数の増加」の2点があげられます。具体的には

- (1) 「ワールドマスターズゲーム 2021 関西ローンボウルズ大会」へ向かっての準備作業の開始については、ジャパンオープン大会の実行委員会より引き継いだ、「ワールドマスターズゲーム 2021 関西ローンボウルズ大会実行委員会」で検討を進める。
- (2) 「加盟会員数の増加」に関しては、これまでと同様「体験会の実施」及び、「広報活動の拡大」を図る。そのための手段として、テレビ、新聞等のメディアへの露出回数の増加を図る。
- (3) 日本選手権大会、全国オープン大会の充実
各クラブにおいて、上位大会への参加を奨励する。

上記事項の実行についての具体策を検討、実施を行うこととなります。

上記以外での今後の検討課題として、

- ① BJ非加盟の団体へのBJ加盟への打診、この件は、該当団体への「ワールドマスターズゲーム 2021 関西ローンボウルズ大会」への参加打診と合わせて実施する。
 - ② BJ加盟3大学（高知、甲南、京都）を含む大学選手権大会の開催。
上記3大学以外にも、日大等クラブ活動を行っている大学を対象とする。
この件については、今後BJ内での検討を重ねたうえで取り掛かる。
- 以上の事柄を進めてまいりたいと思いますので、今年一年間会員皆様のご協力をお願いいたします。

訃報です

神戸タッチャーズ会員 藤田 良（ふじたまこと）様が12月23日逝去されました。
ご連絡とともに、謹んでご冥福をお祈りします。

一般情報など

(1) BJ 2019年度第3回理事会の開催結果

1. 開催日時 令和元年12月14日（土） 13時から17時まで
2. 場所 名古屋市中京大学 4号館 43Aゼミ室
3. 出席者 定足数19名に対し、
当日出席者 8名（山田会長、奥田理事長、依田副理事長、坂本副理事長、
小田監事（木藤理事の代理、児島理事、合田理事、
森理事・事務局長）
委任状提出者 10名（來田、黒沢、安達、Alex、横井、倉本、旭、川本、
小山、吉田の各理事）
欠席者 1名（下野理事）

4. 議事結果

- 1号議案：2019年度日本選手権大会実施結果の報告（技術・競技部）
- 2号議案：2019年度会計中間報告（事務局会計）

3号議案：2020年度主要行事計画の審議（各部からの計画案を事務局で集約し提案）

4号議案：スポーツ団体ガバナンスコード（令和元年6月にスポーツ庁が発表）

への対応体制整備の必要性について報告（山田会長）

5号議案：「BJ倫理規定（案）」の審議（事務局提案）

6号議案：団体名の一部変更に伴う定款変更、支部体制の変更、会員の解釈の一部変更などに関する審議（事務局提案）

7号議案：報告事項（各専門部）

詳細な議事録は bowls.japan@bowls.sakura.ne.jp のメーリングリストで各クラブ代表者に配信してあるので、クラブ内で掲示などにより全会員に共有してください。

（2）スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査に関する説明会に出席

主催：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

場所：公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター2階大会議室

日時：12月23日（月）14:00～15:30

対象：日本パラリンピック委員会加盟競技団体の各理事長、事務局長等

BJからは森事務局長が出席

内容：日本のアマチュア・スポーツ団体を統括しているのは、（公財）日本スポーツ協（JSP0）、（公財）日本パラリンピック委員会（JOC）、（公財）日本障がい者スポーツ協会（JPSA）の3統括団体であり、これらに加盟登録している中央競技団体（いわゆるN.F.=National Federation）は合計で122競技団体（複数の統括団体に加盟しているN.F.も有るので、実数はこれより

若干少ない）がある。ちなみに、当法人BJは現在は日本障がい者スポーツ協会に加盟しており、まだ日本パラリンピック委員会には加盟していないが、122の中央競技団体の1つに含まれている。

このたびはスポーツ庁の主導により、この122中央競技団体に対して「スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査」が2020年度から継続的に実施されることが決定し、今回その詳細が説明された。

この審査の目的は、スポーツ団体のガバナンスを強化し、昨今頻発しているスポーツ団体の不肖事を撲滅しようというものである。

具体的な審査項目は43項目あり、ページ9以降に列記しているが、毎年度初めにその各項目ごとの自己採点を上部の統括団体に提出し、ホームページ等で市民に公表することが義務付けられた。さらに4年ごとに上部の統括団体からの調査チームが証拠資料などを確認・調査に来ることが決定された。当法人への調査チームへの来訪時期がいつになるかは、年明け早々に連絡が来ることになっている。

ローンボウルズというスポーツはパワハラ、セクハラや私腹を肥やす不正経理などという不肖時とは無縁であり、ややこしい規約とか組織とかを持たなくても問題ないことを説明したが、国や県や市や一般市民からも寄付金、補助金、助成金をもらって活動を進めている者としては、それは許されない時代となってきている。規約や組織を明示し説明す

る責任があることを自覚せねばならない。たとえ、現時点では不足している点があっても、いつまでには確立するという計画を示すことが必要であり、審査項目の不適合の点数が多い団体には補助金、助成金が減らされるペナルティが有る、とのことであった。

2019年12月の行事、活動などの結果

(1) SVリーグ2019年度下期大会(第5,6節)

主催：B J 関西支部 主管：SVリーグ実行委員会

リーダー：神戸タッチャーズ、会計：兵庫車椅子クラブ、記録：学園都市ワイズ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月4日(水)、21日(土) 12:30～16:00 13:00～16:30

結果：12月21日(土)終了時点での成績結果は次の通り

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
チーム名	ALB C-B	タッチャーズ -B	タッチャーズ -A	兵庫車 椅子	ALBC -A	学園- B	学園- A	村人ク ラブ A	村人クラ ブ B	タッチャーズ -C
勝点	25	18	18	15	15	13	12	12	12	9
得失点差	+45	+19	+15	-11	-15	+7	-1	-16	-25	-18

(2) Mリーグ2019年度後期大会(第6節)

主催：B J 関西支部 主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月8日(土)、22日(日) 13:00～16:00、22日は天候不順で中止

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ戦を行う。ポイントの計算方法は、{勝ちエンド数×1ポイント+ゲーム勝利のとき2ポイント(引き分けなら1ポイント)}

成績結果：12月8日終了時での成績は以下の通り。(参加率70%以上)

	氏名	平均ポイント	ポイント合計	出場試合数
1位	丸草佑次(生涯スポーツ)	6.38	51.00	8
2位	梶原洋介(生涯スポーツ)	6.30	63.00	10
3位	横井幸雄(神戸タッチャーズ)	6.13	49.00	8

(3) 中崎リーグの12月の結果

主催：ローンボウルズ中崎

日時：12月2日(月)、16日(月) いずれも 12:30～17:00

場所：明石市中崎遊園地内ローンボウルズグリーン(天然芝、4リンク)

結果：

	12月2日(第1回)	12月16日(第2回)	10～12月総合成績
1位	樽井啓祐(BSC) 浜田ひろみ(ALBC) 前林典子(LB中崎)	関政美(ALBC) 前林典子(LB中崎)	前林典子(LB中崎)

2位			樽井啓祐 (B S C)
3位		樽井啓祐 (B S C)	関 政美 (A L B C)

(4) Aリーグカップ 2019年後期大会(第11、12節)

主催：B J関西支部 主管：Aリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：12月1日(日)、15日(日) 12:45~16:00

結果：12月15日 終了時の後期大会最終成績結果は次の通り。

	A-1リーグ		A-2リーグ	
1位	檜垣英男 (A L B C)	135点	樽井啓祐 (B S C)	127点
2位	関 政美 (A L B C)	134点	関口 溜 (A L B C)	110点
3位	南川義和 (学園ワイズ)	127点	西條和子 (A L B C)	106点

参加日数1回あたり平均獲得得点の上位者(ハンデなしの得点で計算する。)			
(表彰対象：参加回数7回以上で、A-1、A-2の1~3位表彰者除く)			
1位	小山裕木恵 (LC 京都)	83点/7回=11.86点/回	
2位	垣内紀子 (A L B C)	90点/8回=11.25点/回	
3位	大杉正樹 (神戸ボウルズ)	110点/10回=11.00点/回	
	森 弘子 (学園ワイズ)	77点/7回=11.00点/回	

(5) 関東地区 レベルアップ講習会 開催

主催：B J技術・競技部

場所：YC&AC

日時：12月15日(日) 9:30~16:00

参加費：500円/人

参加者：11名 YC&AC：アレックス・ヘンティ、トシハル・サイトウ、ジョージ・イシグロ、ヨコ・イシグロ、モトコ・ツヤマ、トモヒロ・ハマダ、サオリ・ハマダ、トシアキ・アライ、カズヒコ・ウメダ

YLBC：依田成史、一瀬民子

カリキュラム：講師 森 紘一 (B J事務局長)

座学 (2階会議室)	実技 (ローンボウルズグリーン)
9:30-10:15：身に付けたいマナー	12:45-14:00：基本的なドロー練習のドリル(反復訓練)
10:15-10:30：知っておきたい ショットの種類	14:00-15:30：実戦形式での チーム・コミュニケーション訓練
10:30-11:30：ポジション別の役割と 必要なスキル	
11:30-12:00：ヘッドを読む訓練	15:30-16:00：総括質疑

(6) 公益財団法人日本レクリエーション協会の加盟団体運営代表者会議に出席

主催：公益財団法人日本レクリエーション協会

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター501 会議室

日時：12月5日（木）13:00～19:00

対象：日本レクリエーション協会加盟競技種目団体の各理事長、事務局長等

BJからは依田副理事長が出席

内容：1) スポーツ実施率向上のための施策（スポーツ庁より）

2) 2020 東京オリ・パラへの取組みと加盟種目団体への期待（組織委員会より）

3) 2020 年度スポーツ振興くじ助成について（日本スポーツ振興センターより）

4) スポーツ安全保険について（公益財団法人スポーツ安全協会より）

5) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の取組と大会後のレガシー(WMG2021 関西組織委員会より)

6) 2020 年度日レク協会の基本方針と重点施策案（公財日レク協会より）

2020年1月以降の計画、予定

(1) SVリーグ 2019 年度後期大会(第 7,8 節)

主催：BJ 関西支部 主管：SV リーグ実行委員会

リーダー：神戸タッチャーズ、会計：兵庫車椅子クラブ、記録：学園ワイズ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：1月8日（水）、1月25日（土）いずれも 13:00 スタート

競技内容：ペアーズ戦を2ゲーム行う。1人4球×10エンド（75分時間制限）

(2) Mリーグ 2019 年度後期大会(第 7,8 節)

主催：BJ 関西支部 主管：M リーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：1月11日（土）、26日（日）13時スタート（12時40分までに受付完了のこと）

第4節の日程は未定

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ、フォアーズ戦を行う。8エンド戦を2ゲーム行う。

ポイントの計算方法は、{勝ちエンド数×1ポイント+ゲーム勝利のとき2ポイント（引き分けなら1ポイント）}

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。

参加費：一人200円。チーム編成は当日の抽選にて決定。

(3) 中崎リーグの1月の開催

主催：ローンボウルズ中崎

場所：明石市中崎遊園地内ローンボウルズグリーン（天然芝、4リンク）

日時：1月6日（月）、20日（月）いずれも 12:45～16:00

募集人員：max. 24名（当日自由参加）。組み合わせは、当日抽選による

(4) Aリーグカップ 2020 年前期大会(第 1,2 節)

主催：B J 関西支部

主管：Aリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：1月 5 日（日）、19 日（日）12:45～16:00

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。

参加費：一人 200 円。チーム編成は当日の抽選にて決定

(5) タイガー方式ローンボウルズ大会

主催：B J 関西支部

開催日：2020 年 1 月 18 日（土）

場所：しあわせの村ローンボウルズ場

ゲーム形式：①参加人数によりトリプルズ戦またはペアーズ戦。

②対戦はリーグ戦方式により各チーム 4 ゲームを行う。

③ゲームの勝敗はスキン方式によるポイント制による。

④チーム編成は当日の抽選によって決める。

⑤募集人員は先着順、最大 60 名まで

クラブごとにまとめて、事務局西口さんまで申し込む。

(6) アンパイア資格レベル 1 の更新および新規認定講習会

主催：B J 技術・競技部

	関西地区	関東地区
開催日	2020 年 1 月 12 日（日）～13（月）	25（土）～26（土）
場所	しあわせの村	YC&AC
申込期限	2019 年 12 月 25 日	2020 年 1 月 15 日
受講料	更新の場合：1,000 円/人	新規認定の場合：2,000 円/人

アンパイア（レベル 1）資格認定講習会カリキュラム

*テキスト：ローンボウルズ規則集（クリスタルマーク第 3 版）。

*講師：関西地区：下表のとおり、 関東地区：未定

第 1 日目（屋内）		第 2 日目（グリーンおよび屋内）	
9:00- 11:00 *2 時間	<p>●規則集の解説</p> <p>1. アンパイアの責務 講師 奥田</p> <p>[規則 43 (pp.47-48)]</p> <p>2. マーカーの責務</p> <p>[規則 42 (pp.46-47)]</p> <p>3. プレーヤーの責務</p> <p>[規則 40 (pp.43-45)]</p>	9:00- 10:00 *1 時間	<p>●講師によるメジャリング実技解説 （グリーン）</p>
		10:10- 12:00	<p>●受講者のメジャリング実技試験ま たは実技実習 （グリーン）</p>

11:10- 12:00 *50分	●規則集の解説 講師 森 1. 計測器具 [規則 54 (p.58)] 2. 用語定義集 (pp.7-11)	*1時間 50分	*新規取得希望者：試験 *更新希望者：実習 *その後、講評
12:00- 13:00	昼食休憩	12:00- 13:00	昼食休憩
13:00- 14:30 *1時間 30分	●規則集の解説 講師 坂本 1. 第1節 ゲームの基本 [規則 1~28 (pp.12-31)] 2. 第2.1節 プレーに影響する違反 [規則 29~31 (pp.31-33)] 3. 第2.2節 プレーに影響する要因 [規則 32~36 (pp.33-35)]	13:00- 15:00 *2時間	●新規取得希望者に対して： 規則集に関する筆記試験（屋内） ----- *更新希望者は、試験免除。 (講習会は午前で終了)
14:40- 16:00 *1時間 20分	●規則集の解説 講師 船引 1. 第2.3節 ボウルとジャックの 位置ずれ [規則 37 (pp.35-42)] 2. 第5節 管理運営 [規則 55~60 (pp.59-67)]	15:00- 15:30 *30分	●新規取得希望者に対して： 講評（屋内） (合否判定の結果発表は後日)
16:20- 17:00 *40分	●アンパイアやマーカールとして取るべき適正な言動、心得るべきマナーなどの解説 ●質疑応答 講師 山田		

スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査 審査項目

原則	審査項目
[1]組織運営等に関する基本計画を策定し、公表すべきである。	(1)組織運営に関する中長期基本計画を策定し公表すること。
	(2)組織運営の強化に関する人材の採用及び育成に関する計画を策定し公表する事。
	(3)財務の健全性確保に関する計画を策定し、公表すること。
[2]適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(1)-①外部理事の目標割合(25%以上)および女性理事の目標割合(40%以上)を設定するとともに、その達成に向けた具体的な方策を講じる事。
	(1)-②評議委員会を置くNFにおいては外部評議員および女性評議員の目標を設定するとともに、その達成に向けた具体的な方策を講じる事。
	(1)-③アスリート委員会を設置し、その意見を組織運営に反映させるための具体的な方策を講じる事。
	(2)理事会を適正な規模とし、実効性の確保をはかること。
	(3)-①理事の就任時の年齢に制限を設けること。
	(3)-②理事が原則として10年を越えて在任することがないように在任回数の上限を設けること。
	(4)独立した諮問委員会として役員候補者選考委員会を設置し、構成員に有識者を配置すること。
[3]組織運営等に必要な規定を整備すべきである。	(1)NFおよびその役員その他構成員が適用対象となる法令を遵守するために必要な規定を整備すること。
	(2)-①法人の運営に関して必要となる一般的な規定を整備しているか？
	(2)-②法人の業務に関する規定を整備しているか？
	(2)-③法人の役職員の報酬等に関する規定を整備しているか？
	(2)-④法人の財産に関する規定を整備しているか？
	(2)-⑤財政的基盤を整えるための規定を整備しているか？
	(3)代表選手の公平かつ合理的な選考に関する規定その他選手の権利保護に関する規定を整備すること。
	(4)審判員の公平かつ合理的な選考に関する規定を整備すること。
	(5)相談内容に応じて適切な弁護士への相談ルートを確保するなど、専門家に日常的に相談や問い合わせを出来る体制を確保すること。
[4]コンプライアンス委員会を設置すべきである。	(1)コンプライアンス委員会を設置し運営すること。
	(2)コンプライアンス委員会の構成員に、弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者を配置すること。
[5]コンプライアンス強化のための教育を実施すべきである。	(1)NF役員向けのコンプライアンス教育を実施すること。
	(2)選手及び指導者向けのコンプライアンス教育を実施すること。
	(3)審判員向けのコンプライアンス教育を実施すること。
[6]法務、会計等の体制を構築すべきである。	(1)法律、税務、会計等の専門家のサポートを日常的に受けることが出来る体制を構築する事。

	(2)財務、経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を順守すること。
	(3)国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守すること。
[7]適切な情報開示を行うべきである。	(1)財務情報等について、法令に基づき開示を行う事。
	(2)-①選手選考基準を含む選手選考に関する情報を開示すること。
	(2)-②ガバナンスコードの遵守状況に関する情報等を開示すること。
[8]利益相反を適切に管理すべきである。	(1)役職員、選手、指導者等の関連当事者とNFとの間に生じうる利益相反を適切に管理する事。
	(2)利益相反ポリシーを作成すること。
[9]通報制度を構築すべきである。	(1)通報制度を設けること。
	(2)通報制度の運用体制は、弁護士、公認会計者、学識経験等の有識者を中心に整備すること。
[10]懲罰制度を構築すべきである。	(1)懲罰制度における禁止行為、処分対象者、処分の内容および処分に至るまでの手続きを定め、周知すること。
	(2)処分審査を行う者は、中立性および専門性を有する事。
[11]選手、指導者等との間の紛争の迅速かつ適正な解決に取り組むべきである。	(1)NFにおける懲罰や紛争について、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構によるスポーツ仲裁を利用できるよう自動応諾条項を定めること。
	(2)スポーツ仲裁の利用が可能であることを処分対象者に通知すること。
[12]危機管理および不祥事対応体制を確保すべきである。	(1)有事のための危機管理体制を事前に構築し、危機管理マニュアルを策定すること。
	(2)不祥事が発生した場合は、事実調査、原因究明、責任者の処分および再発防止策の提言について検討するための調査体制を速やかに構築する事。*審査書類提出時から過去4年以内に不祥事が発生した場合のみに審査を実施。
	(3)危機管理および不祥事対応として外部調査委員会を設置する場合、当該調査委員会は、独立性・中立性・専門性を有する外部有識者（弁護士、公認会計士、学識経験者等）を中心に構成すること。*審査書類提出時から過去4年以内に外部調査委員会を設置した場合のみに審査を実施。
[13]地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に関わる指導、助言および支援を行うべきである。	(1)加盟規定等の整備により地方組織等との間の権限関係を明確にするとともに、地方組織等の組織運営および業務執行について適切な指導、助言および支援を行う事。
	(2)地方組織等の運営者に対する情報提供や研修会の実施等による支援を行う。